

内覧会

「阿佐ヶ谷書庫」

2013年4月7日(日)

【見学】10時、11時、13時、14時より（無料）

【見学とトーク】15時、17時より（会費一,〇〇〇円）

□トーク1 15時から16時40分まで

「阿佐ヶ谷の家、ひねもすのたりから阿佐ヶ谷書庫まで」

松原 幸子（施主、「器café・ひねもすのたり」店主）

堀部 安嗣（建築家、京都造形芸術大学大学院教授）

多田 君枝（編集者、『コンフォルト』編集人／司会）

□トーク2 17時から18時40分まで

「阿佐ヶ谷書庫プロジェクトをめぐって」

松原 隆一郎（施主、社会経済学者、東京大学大学院教授）

堀部 安嗣（建築家、京都造形芸術大学大学院教授）

菅野 康晴（編集者、新潮社『とんぼの本』編集部／司会）

【場所】「阿佐ヶ谷書庫」（東京都杉並区阿佐ヶ谷北）

*JR中央・総武線「阿佐ヶ谷」駅北口より徒歩約20分

*防犯上の理由により、詳細は申込受付後に個別にお知らせします。

*定員各30名。予約入換制。申込多数の場合は抽選になります。

*見学は約40分、トークは約1時間の予定です。

*トークは立ち見または階段のステップにお座りいただきます。
ご了承ください。

「阿佐ヶ谷書庫」
2013年 東京都杉並区
photo by Y.Horibe



主催：堀部安嗣建築設計事務所
協力：松原 隆一郎、松原 幸子、木村 幸央、齋藤 さだむ、塚越 阿希江、
松村 智子
企画協力：森 桜

2013年4月、東京の杉並で「阿佐ヶ谷書庫」の内覧会を開きます。この建物は、社会経済学者・松原隆一郎さんの新しい書庫兼仕事場です。建築家の堀部安嗣さんが設計しました。松原さんと奥さまの幸子さんは堀部さんの古くからの施主です。この16年の間に自宅「阿佐ヶ谷の家」の改築と増築を、また幸子さんのカフェ「ひねもすのたり」の内装をお願いしてきました。今回で4度目の依頼ですが、つねづね図書館をつくりたいと思っていた堀部さんにとっては念願のリクエストでした。現場には、すでに約1万冊の本と松原家の仏壇が収蔵されています。この建物は書庫であると同時に、かつて神戸の魚崎にあった松原さんの実家の記憶を引き継ぐ大切な場所でもあります。内覧会では建物の図面や模型とともに、造船や製鉄などで一時代を築いた松原さんのおじいさまたちの写真もご覧いただきます。またトークでは編集者の多田君枝さんと菅野康晴さんを司会にお迎えし、松原夫妻と堀部さんの対話を通して、このプロジェクトに込められた思いをお聴きいただきます。春爛漫の阿佐ヶ谷へどうぞいらしてください。

【申込期間】
2013年3月31日（日）まで。
***返信は抽選結果を含め4月3日（水）にメールでお知らせします。**

【申込方法】

以下をご明記の上、Eメールで森オフィス（森桜）までお申込みください。

*会場の都合により、同伴者は1名様までとさせていただきます。

- ①希望時間（第一希望のみ）
- ②申込者名（ふりがな）、職業、所属、電話番号（携帯）、メールアドレス（P.C.)
- ③同伴者名、職業、所属
- ④当会へのメッセージやトークで訊きたいこと

【申込・問合せ先】

森オフィス メールアドレッス : morisakura@nifty.com



「阿佐ヶ谷書庫」photo by Y.Horibe



松原隆一郎さんの大伯父・石堂軍治が所有する機帆船の進水式。中央で番傘をさす女性が松原さんの祖母・松原菊枝。祖父・頼介が寄贈した船か。小さな女の子の左に立つのが祖母の兄の石堂と思われる。1938（昭和13）年頃。場所は現在の兵庫県たつの市あたり。

松原 幸子

——施主、「器とcafé・ひねもすのたり」店主
1958年東京都生まれ。飲食と器の店「吉左右」、「ガウス生活心理研究所」に勤務後、フリーのマーケティング・リサーチャーを経て、2006年「器とcafé・ひねもすのたり」を開業。赤木明登、扇田克也、長谷川まみなどの作品を取り扱い、衣食住に関する様々な展示やワークショップを手がける。

<http://hinemosu-no-tari.com/>

堀部 安嗣

——建築家、京都造形芸術大学大学院教授
1967年神奈川県横浜市生まれ。筑波大学芸術専門学群環境デザインコースを卒業、益子アトリエにて益子義弘に師事した後、1994年堀部安嗣建築設計事務所を設立。近作に「屋久島メッシュセンター」、「鹿嶋の研究所」、「市原の家」、「イヴェール・ボスケ」など。作品集に「堀部安嗣の建築」。

<http://www1.ocn.ne.jp/~horibe-ad/>

□プロフィール 松原 隆一郎

——施主、社会経済学者、東京大学大学院教授
1956年兵庫県神戸市生まれ。灘高等学校、東京大学工学部都市工学科を卒業、同大学院経済学研究科博士課程修了。東京大学大学院総合文化研究科助教授を経て同教授。武道家としても知られる。主な著書に『ケインズとハイエク』、『日本経済論』、『分断される経済』、『経済学の名著30』、『消費資本主義のゆくえ』、『失われた景観』、『武道を生きる』など。

<http://homepage3.nifty.com/martialart/>

新潮社「とんぼの本」ウェブサイトで書庫計画の顛末「阿佐ヶ谷書庫プロジェクト」を執筆公開中。
<http://www.shinchosha.co.jp/tonbo/blog/matsubara/>